

株主の皆様へ

第105期 報告書

2018年2月1日～2019年1月31日



スバル興業株式会社

証券コード：9632

株主の皆様へ



取締役社長

永田 泉治

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。
さて、当社グループの第105期（2018年2月1日から2019年1月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概況等をご報告申し上げます。

また、当社グループは、3か年計画『中期経営戦略2016-2019TRY！2019』において業績の向上に努めました結果、当初の目標数値（売上高220億円、営業利益20億円）を大幅に上回ることができましたので、あわせてご報告申し上げます。

しかしながら、2019年4月に当社連結子会社の元代表取締役による不正行為が判明いたしましたことから、株主の皆様へは、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを改めまして、深くお詫び申し上げますとともに、役職員一丸となりまして再発防止に向けて努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2019年5月

財務ハイライト (連結)

経営成績の概要

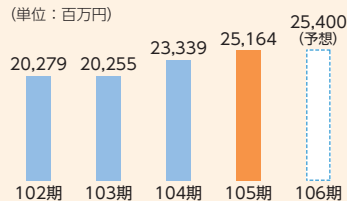
当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかに景気回復が続きましたが、海外経済の不確実性等により、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、当連結会計年度における売上高は25,164百万円、営業利益は3,062百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,820百万円となりました。

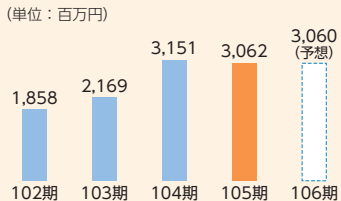
次期の見通し

次期の見通しにつきましては、売上高25,400百万円、営業利益3,060百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,440百万円を見込んでおります。

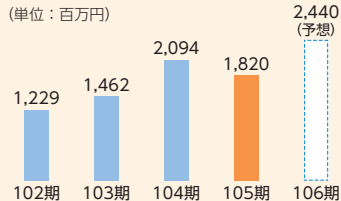
売上高 25,164百万円
(前期比 7.8%増)



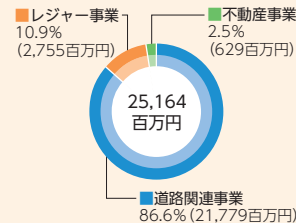
営業利益 3,062百万円
(前期比 2.8%減)



親会社株主に帰属する当期純利益 1,820百万円
(前期比 13.1%減)



セグメント別売上高構成



営業の概況

道路関連事業

売上高 21,779百万円 (前期比1,673百万円増)

セグメント利益 3,275百万円 (前期比64百万円増)

主な事業

- 道路・橋梁・河川 維持工事
- 道路環境関連製品の販売
- 橋梁・構造物等の設計業務
- 道路・河川 保全作業
- 有料道路等の売店経営
- 太陽光発電事業

道路関連事業は、道路、橋梁等の維持・補修分野における公共投資は底堅く推移したものの、慢性的な建設技能者不足や企業間における熾烈な受注競争等もあり、依然として予断を許さない状況が続きました。このような状況のなか、営業部門においては、積算精度を高めることにより公共工事の受注拡大を図り、積極的な営業活動により民間受注の増加にも努めました。現業部門においては、安全管理に重点を置き、リスクマネジメントの強化を図り、確実な施工に努めました。

また、グループ企業間の情報共有を徹底し、施工、設計協力や社員教育による技術力の強化を図るとともに、業務の効率化とコスト削減による収益力の向上に努めました結果、道路関連事業は増収増益となりました。



橋梁点検、補修工事



除雪作業

レジャー事業

売上高 2,755百万円 (前期比142百万円増)
セグメント利益 141百万円 (前期比47百万円減)

主な事業

- 映画興行
- 飲食店経営
- 飲食物品等販売
- マリーナの運営

『有楽町スバル座』における映画興行は、期中に邦画18作品、洋画3作品の計21作品を上映し、「教誨師」をはじめ「ミッドナイト・バス」「輪違屋糸里 京女たちの幕末」等の話題作の上映もありましたが、全体的には低調に推移し、売上高は前期を下回りました。

飲食事業は、人手不足や原材料価格の上昇、コンビニエンスストア等との業種を超えた競争の激化もあり、依然として厳しい事業環境が続きましたが、飲食店舗においては、衛生管理の徹底と接客サービスの向上を図り、また、物品販売においては、顧客ニーズにあった商品提案を行い、業務用食材や炭酸飲料水等の販売拡大に向け、積極的な営業活動に努めましたところ、売上高は前期を上回りました。

マリーナ事業は、ヨットレース「スバルザカップ」や「マリンフェスティバル」等の各種イベントの開催により、利用者サービスの向上に努めましたところ、『東京夢の島マリーナ』『浦安マリーナ』において、年間契約の船舶係留数が高水準に推移し、また、船舶給油所の利用者数の増加や、「イーノの森」におけるバーベキューステーションも好調に稼働したこともあり、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体では増収となりましたが、新規飲食店開店に伴う費用等を計上したこともあり減益となりました。

不動産事業

売上高 629百万円 (前期比9百万円増)
セグメント利益 347百万円 (前期比15百万円減)

主な事業

- 賃貸ビル
- 賃貸倉庫
- 賃貸駐車場
- 土地の賃貸

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』をはじめ各賃貸物件は堅調に稼働し、増収となりましたが、『盛岡パーキング』において大規模塗装工事を実施した影響もあり減益となりました。なお、期中9月に千葉県松戸市内に事業用地を取得し、賃貸を開始しております。

会社の概況

会社概要 (2019年1月31日現在)

設 立	1946年2月9日
資 本 金	1,331百万円
主要な事業所	46か所
従 業 員 数	219名(連結555名)
U R L	https://subaru-kougyou.jp/
本 社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861 (代表)
関 西 支 社	〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町3番21号 TEL 06-6313-4501 (代表)
主な事業内容	道路および道路附帯設備の維持・清掃・補修工事の請負、 有料道路等の売店運営業務の受託、 橋梁・構造物等の設計業務、太陽光発電事業、映画興行、 飲食・物販等の事業、マリナーの運営事業、不動産賃貸業

取締役 (2019年5月30日現在)

代表取締役会長	小 林 憲 治
代表取締役社長	永 田 泉 治
専務取締役	松 丸 光 成
常務取締役	堀 内 信 之
常務取締役	石 塚 泰
取締役	今 沢 宏 之
取締役	岡 部 一 朗
取締役	竹 島 美 喜
取締役	上 野 俊 明
取締役	太 古 伸 幸
取締役	社外 独立 宮 家 邦 彦
取締役 (常勤監査等委員)	社外 独立 遠 藤 信 英
取締役 (監査等委員)	社外 独立 野 元 三 夏
取締役 (監査等委員)	社外 独立 上 村 多 恵 子

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

科 目	前 期	当 期
(資産の部)		
流動資産	14,349	15,028
固定資産	11,405	11,802
有形固定資産	8,761	9,022
無形固定資産	734	693
投資その他の資産	1,908	2,085
資産合計	25,754	26,830

POINT
1

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
(負債の部)		
流動負債	3,577	3,492
固定負債	1,080	1,103
負債合計	4,657	4,595
(純資産の部)		
株主資本	20,606	22,142
その他の包括利益累計額	13	5
非支配株主持分	478	86
純資産合計	21,097	22,234
負債純資産合計	25,754	26,830

POINT
1

POINT
1

POINT
1

当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金、未成工事支出金、投資有価証券の増加、土地の取得等により前連結会計年度末に比べ1,075百万円増加となり、負債は支払手形及び買掛金の増加がありましたが、未払法人税等の減少等により前連結会計年度末に比べ61百万円の減少、純資産は非支配株主持分の減少がありましたが、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,137百万円増加となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
売上高	23,339	25,164
営業費用	18,640	20,292
売上総利益	4,699	4,872
一般管理費	1,547	1,809
営業利益	3,151	3,062
営業外収益	53	44
営業外費用	18	223
経常利益	3,187	2,883
特別利益	5	71
特別損失	-	31
税金等調整前当期純利益	3,192	2,924
法人税、住民税及び事業税	1,075	1,084
法人税等調整額	△10	△10
当期純利益	2,127	1,850
非支配株主に帰属する当期純利益	33	30
親会社株主に帰属する当期純利益	2,094	1,820

POINT
2

POINT
2

POINT
2

POINT
2

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
営業活動による キャッシュ・フロー	2,879	2,174
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,266	△940
財務活動による キャッシュ・フロー	△349	△708
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	0
現金及び現金同等物の増減額	1,263	524
現金及び現金同等物の期首残高	5,615	6,878
現金及び現金同等物の期末残高	6,878	7,402

POINT
2

当連結会計年度の売上高は、道路関連事業21,779百万円、レジャー事業2,755百万円、不動産事業629百万円の合計25,164百万円（前期比7.8%増）となり、営業利益は3,062百万円（前期比2.8%減）、経常利益は2,883百万円（前期比9.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,820百万円（前期比13.1%減）となりました。

株式の状況 (2019年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数：4,000,000株

発行済株式の総数：2,662,000株

株主数：4,226名(前期比 +38名)

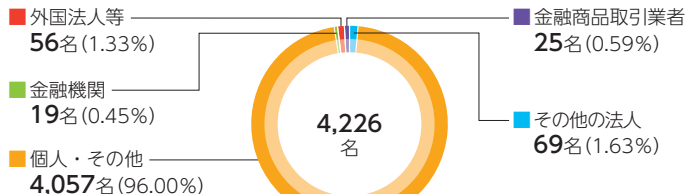
大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東宝株式会社	1,360	52.93%
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	84	3.27%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	63	2.47%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32	1.27%
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	28	1.08%
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	27	1.08%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	25	0.97%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	21	0.85%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	20	0.77%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	19	0.74%

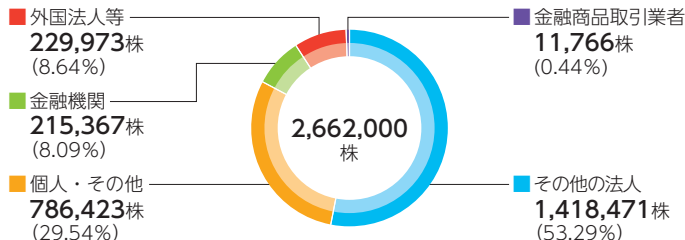
(注) 1. 当社は、自己株式91,314株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除し、小数点第2位未満を切捨てて表示しております。

株式分布状況

株主数



株式数



当社直営映画館および飲食店のご案内 (2019年5月30日現在)

■ 映画館

有楽町スバル座
東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル2F

■ イタリア料理店

ラ・ベルデ有楽町店
東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルB1

ラ・ベルデ日比谷店
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビルB1

ラ・ベルデ大手町店
東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエアB1

■ 南イタリア・シチリア料理店

エトナマーレ
神奈川県横浜市神奈川区金港町1-10
横浜ベイクォーター4F

■ 和食店

そば処 竹むら
東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルB1

■ 喫茶店

ドトールコーヒーショップ大山サンロード店
東京都板橋区大山東町52-2

ドトールコーヒーショップ新青山ビル店
東京都港区南青山1-1-1 新青山ビルB1

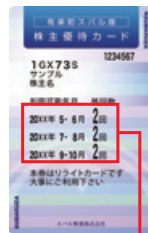
ドトールコーヒーショップ
大手町フィナンシャルシティ店
東京都千代田区大手町1-9-7
大手町フィナンシャルシティ サウスタワーB1

ドトールコーヒーショップ大宮駅前店
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-8-1
ベルヴェオフィス大宮1F

■ ダイニングレストラン

MARINA & GRILL
東京都江東区夢の島3-2-1 東京夢の島マリナーナ内

株主ご優待



ご利用の都度、書き換わります。

ご所有株式数 ご招待回数

100株以上	6カ月 6回 (2カ月ごとに2回)
200株以上	6カ月12回 (2カ月ごとに4回)
300株以上	6カ月18回 (2カ月ごとに6回)

このご優待カードは、2019年10月分のご利用をもちまして最終となります。
詳細は最終ページでご確認ください。
有楽町スバル座上映作品をご鑑賞になれます。

株主優待カード (書換え式)

ご利用の際は、株主優待カードをチケット売場へご提示願います。

ご利用方法などの詳細につきましては、「株主優待のご案内」の冊子または、当社ホームページにてご案内しております。

※株主優待カードは表A・Bに該当する株主様のみ新たに発行いたします。

表C・D・Eに該当する株主様は、現在お持ちの株主優待カードを継続利用となります。

	前基準日(2018年7月)	当基準日(2019年1月)	
A	売却	買付	新規カード発行
B	売却	買付	新規カード発行
C			既存カード継続利用
D			既存カード継続利用
E	売却	買付	既存カード継続利用
F			株主優待権利消失
G	売却	買付	株主優待権利なし

基準日：1月31日(期末)および7月31日(中間)の2回です。
●●●●●は当社株式の保有期間を表しております。

紛失や廃棄等で再発行される方は、再発行手数料2,000円をご負担いただきますので、大切にご保管ください。

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://subaru-kougyou.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。
 - それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- ※・証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。
・当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

3. 配当金の受取方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にて「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に代え、**銀行預金口座への振込**の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれます銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き
▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

有楽町スバル座閉館および株主優待制度変更のお知らせ

有楽町スバル座は2019年10月に閉館することとなりました。閉館に伴い、株主優待制度を変更いたします。

2020年以降は、優待基準日を1月末日の年1回に変更し、また、長期間保有いただいている株主様へのご支援に感謝し、継続保有特典を追加することといたしました。なお、2019年7月末日の株主様に限り、変更後の半年相当分を贈呈させていただきます。

変更日:2019年7月末日。変更後ご優待内容:「TOHOシネマズ ギフトカード」の贈呈(詳細は下記表をご参照)。

株式 保有数	2019年7月末日のみ※①		2020年1月以降 毎年1月末日(年1回のみ)※②	
	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株以上	1,000円分	1,500円分	2,000円分	3,000円分
200株以上	1,500円分	2,000円分	3,000円分	4,000円分
300株以上	2,000円分	2,500円分	4,000円分	5,000円分

継続保有期間3年以上とは、基準日(※①7月末日又は※②1月末日)の株主名簿に同一株主番号で連続して4回以上記載または記録されていることといたします。

「TOHOシネマズ ギフトカード」とは、全国の「TOHOシネマズ」において、チケット購入や売店(飲食物やグッズ等)でご利用いただけます。詳細はTOHOシネマズWEBサイトにてご確認ください。

<https://www.tohotheater.jp/service/giftcard/>

スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号

TEL 03-3213-2861(代表)

<https://subaru-kougyou.jp/>

